

宮農だより

金沢営農協議会
J A 金沢中央
石川県農業共済組合

5・6月のポイント ～高品質金沢産米づくり運動10の推進技術～

- 中干し・溝きりは、田植え1か月後から実施 ○中干しの期間は、約1か月
- 畦畔・農道等の除草は5～6月にかけて実施し、7月上旬までに追加除草

中干しまでの水管理について

- 分げつの発生を促すため、晴天時は浅水管理とし、地温の上昇を図る。
- 田植後15日頃から中干し開始までの間に2～3回田干しを行い、土壌中のガスを取り除き、根の健全化を図る。
- 低温、強風、フェーン時は一時的に深水とし、苗を保護する。
- 藻が多い圃場では、田を干すか専用除草剤（モゲトン）を施用する等の対策を行う。

中干し、溝切り：中干しは根の健全化と、無効分げつを抑える大切な作業です。

- 中干しの開始の目安

田植後1ヶ月!!

1株の莖数の目安（市街地では2日程度早くなります。）

品 種	60株植え	50株植え	中干しの期間
ゆめみづほ	17～18本/株	21～22本/株	5月28日～6月25日
コシヒカリ	14～15本/株	17～18本/株	6月1日～7月5日

※中干しの期間は約1ヵ月。中干し終了後は、飽水管理。

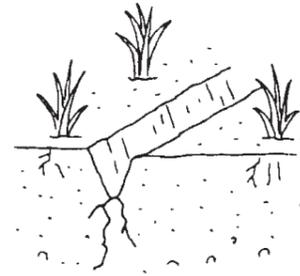
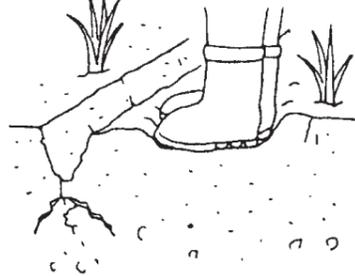
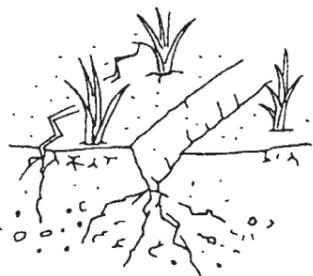
- 中干しの程度

湿田では強いヒビ

半湿田には足がしずむ程度

乾田では弱いヒビ

5日程度
落水して
1日通水



3日程度
落水して
1日通水

- 中干しの効果

- | | | | | |
|------------|---|-----------------------|---|---------|
| 1 元気な根づくり | → | 根腐れ・倒伏防止 | → | 登熟・食味向上 |
| 2 余分な窒素を抜く | → | 過剰生育抑制 | → | 乳白粒発生防止 |
| 3 田面を固くしめる | → | 収穫直前まで通水してもコンバイン作業は楽々 | | |

- 溝切りの実施（溝を水口・水尻につなげることで、入水・排水がしやすくなります。）

- ①溝切りは3～5m間隔に1本の割合で掘り、それらを枕地部分の溝でつないで圃場外へ排水。
- ②溝切りの実施時期は、中干し開始3日後を目安に行う。
- ◎溝切り機のレンタルもあります。（詳しくは各支店、農機課まで）

追肥の施用：倒伏防止・登熟向上に効果あり！

資材名	施用量	施用時期
草木加里	10kg/10a	(ゆめみづほ・コシヒカリとも) 6月1～15日
BB PKけいさん	20～40kg/10a	(ゆめみづほ) 6月10～20日
		(コシヒカリ) 6月15～30日

※珪酸は稲体を丈夫にし、登熟向上、耐病性向上、耐倒伏性向上、根張り促進にも有効です。
※基肥一発肥料を使用の方は、必ず施用して下さい。

中干しの適期実施で、太い良質莖の健全な稲体を確保しよう。

J A 金沢中央のホームページでも宮農だよりを掲載しております。「J A 金沢中央」で検索して下さい。

病害虫防除：雑草防除を徹底してカメムシの生息密度を抑えよう！

●カメムシ斑点粒・着色粒発生防止対策

カメムシ類の発生が近年多発傾向です。特に今年は暖冬の影響から、越冬した個体が多数いるものと思われます。畦畔の管理や防除を徹底して実施しましょう。

～カメムシ防除をかねた畦畔沿い除草のポイント～

- ①畦畔・農道などの雑草防除は5～6月中に2回、7月上旬に1回行う。
- ②除草は、刈り取るか除草剤(ラウンドアップマックスロード又はバスタ液剤又はザクサ液剤)を散布する。
- ③休耕田には、6月下旬にスミチオン乳剤(1,000倍)を散布し、カメムシの生息密度を下げる。
- ④長く伸びた雑草を7月中旬以降に刈り取ると、カメムシを水田に追い込むことになるので注意する。

※本田に残された補植苗は、いもち苗の伝染源となり、早期発生を招くので、早急に取り除く。

本田後期除草剤について：使用時期(収穫前日数)は必ず確認！

●ノビエの取りこぼしに

薬剤名	使用時期	使用量	注意事項
ヒエクリーン 1キロ粒剤	移植後15日～ ノビエ4葉期まで (収穫45日前まで)	1kg/10a	湛水状態で散布 遅効性だが抑草期間が長い 本剤の使用は1回のみ
クリンチャーEW	移植後20日～ ノビエ6葉期まで (収穫30日前まで)	(10a当たり) 薬量100ml 希釈水量100ℓ	落水状態で散布 効果を高めるため展着剤を加用する 本剤の使用は2回以内
クリンチャー 1キロ粒剤	移植後25日～ ノビエ5葉期まで (収穫30日前まで)	1.5kg/10a	湛水状態で散布 速効性だが抑草効果は期待出来ない 本剤の使用は2回以内

●広葉雑草の取りこぼしに

薬剤名	使用時期	使用量	注意事項
バサグラン粒剤	移植後15～55日 (収穫60日前まで)	3～4kg/10a	落水状態(足跡に水が残っている状態) で散布し、3日間入水しない 本剤の使用は1回のみ
バサグラン液剤	移植後15～55日 (収穫50日前まで)	(10a当たり) 薬量500ml 希釈水量100ℓ	落水状態で散布し展着剤の必要なし 本剤の使用は2回以内

●ノビエも広葉雑草も残った場合

薬剤名	使用時期	使用量	注意事項
レブラス 1キロ粒剤	移植後14日～ ノビエ4葉期まで (収穫60日前まで)	1kg/10a	湛水状態で散布 本剤の使用は1回のみ
ワイドアタックD 1キロ粒剤	移植後15日～ ノビエ5葉期まで (収穫60日前まで)	1kg/10a	湛水状態で散布 本剤の使用は1回のみ
クリンチャーバス ME液剤	移植後15日～ ノビエ5葉期まで (収穫50日前まで)	(10a当たり) 薬量1,000ml 希釈水量100ℓ	落水状態で散布し展着剤の必要なし 本剤の使用は2回以内
アトカラS ジャンボMX	移植後14日～ ノビエ3.5葉期まで (収穫45日前まで)	小包装20個/10a	湛水状態で散布 本剤の使用は1回のみ
ワイドパワー粒剤	移植後20日～ ノビエ5葉期まで (収穫60日前まで)	3kg/10a	落水状態(足跡に水が残っている状態) で散布し、3日間入水しない 本剤の使用は1回のみ

栽培履歴記帳を忘れずに!!

不明な点はJA金沢中央、県央農林総合事務所(電話239-1751)へお問い合わせ下さい。

中干し開始の目安は、田植後1ヶ月!!

農薬・除草剤は登録された使用方法を守りましょう。

農薬は、飛散防止に気を付けて散布しよう。